

H31.3.22 第7回ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会

(出席者)※委員(代理出席含む)のみ

【学 識】 中村教授(協議会会長)(日本大学工学部)、芥川教授(福島工業高等専門学校)

【産業界】 小野会長((一社)福島県建設産業団体連合会)、鈴木専務理事((一社)福島県建設業協会)、
皆川会長((一社)福島県測量設計業協会)、相良会長(福島県法面保護協会)、
佐藤会長((一社)福島県地質調査業協会)、畠支部長((公社)日本技術士会東北本部福島県支部)、
長谷川会長(福島県土木施工管理技士会)、伊藤専務理事((一財)ふくしま市町村支援機構)

【官公庁】 遠藤副所長(国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所)、杉部長(協議会副会長)(福島県土木部)

※委員総数13名のうち、代理出席を含め12名の出席



【会長挨拶】

中村教授 : これまでに「ふくしまME(基礎)コース」を3回開催し、「ふくしまME(防災)、(保全)コース」を昨年11月に開講できたことに改めて感謝申し上げます。協議会としてはメンテナンス技術者を育成することが一つの大きな目的ではあるが、今後は育成した技術者が地域を先導し、担い手育成に積極的に関わること、そして県内の維持管理に貢献していただくことが重要と考えるので、活躍できるための環境整備について、皆様にはより一層のご協力をお願いしたい。

【会議結果】

(1) 報告事項については、資料1～9に沿って報告した。

・(資料8関係)市町村に対して、メンテナンス技術者育成の取り組みや、維持管理の重要性を認識してもらうために、事務局や県が中心となり今後対応を検討することとした。

(2) 平成31年度事業計画について、スケジュール(資料10)及び予算書(資料11)については原案どおり承認された。

(3) ふくしまME(基礎)コース実施要領(資料12～14)については、以下のとおり。

・カリキュラム及び修得目標の改定(資料12)は、原案どおり「補修・補強の基礎」を追加することで承認された。

・募集要項(資料13及び14)は、ME育成の枠組み(資料15関係)の内容を一部盛り込むことで承認された。

(4) 技術者育成の枠組み(資料15)は原案どおり承認され、MMRの検討は福島県産学官連携協議会と連携して行うこととした。

(5) ふくしまME認定者の活用(資料16)は、福島県土木部発注の点検診断業務において、平成31年4月より「ふくしまME(防災)、(保全)」や一部の資格を管理技術者の要件に追加することを説明した。

【委員発言】

遠藤副所長 : 国土交通省登録資格については、国土交通省の発注業務において技術者の要件に反映しているため、ふくしまME(基礎)の認定者においては、ぜひ活躍して欲しい。

鈴木専務理事 : 市町村の首長が、インフラの維持管理が重要であるという認識を持ってもらえるよう、積極的に働きかけを行って欲しい。

設計担当や施工担当の双方の技術者が、お互いの業務を理解できるようなカリキュラムや認定試験の内容となれば、より現場の条件を把握でき、維持管理・修繕がスムーズに進んでいくと考える。

畠支部長 : 実際に起こっている現場での課題をストックしていき、それをテキストに反映することで、より実践的な技術者の育成に繋がると考える。